

*米国本社リリース参考訳

*公式リリースは[P & G米国本社サイト](#)をご覧ください。

P & G 2018/19 事業年度 第3四半期(1-3月期)業績

純売上高は前年同期比1%増、本源的売上高5%増、

希薄化後1株当たり純利益は9%増加し1.04ドル、1株当たり中核利益は6%増加の1.06ドル、為替レートの影響を除いた1株当たり中核利益は15%増

売上高成長率と調整後フリーキャッシュフロー生産性の見通しを上方修正

2019年4月23日 米国シンシナティ発

ザ・プロクター・アンド・ギャンブル・カンパニー(NYSE:PG)は、2019事業年度第3四半期の純売上高が、前年同期と比べ1%増の165億ドルであったと発表しました。為替レートと事業の買収・売却の影響を除いた本源的売上高は、5%増加しました。希薄化後1株当たり純利益は、前年と比べ9%増加して1.04ドルになりました。1株当たり中核利益は、6%増加して1.06ドルになり、為替レートの影響を除く1株当たり中核利益は、前年比15%増加しました。

当四半期の営業活動によるキャッシュフローは35億ドルで、フリーキャッシュフローの生産性は100%でした。当社は、19億ドルの配当金と約13億ドルの自社普通株式の買い戻しにより、合計31億ドルを株主の皆様へ還元しました。P & Gは、過去10年間に、株主の皆様へ約670億ドルの配当を還元しました。4月上旬、P & Gは、4%にのぼる四半期配当の増配を発表し、増配は、63年連続となります。P & Gは、1890年の株式会社化以来129年連続で配当を続けています。

取締役会会長、社長兼最高経営責任者(CEO)デビッド・テイラーは、「P & Gは、第3四半期も本源的売上高の成長を強気に達成し、通期の見通しをさらに上方修正することができました。引き続き、強気に資金を創出していることで、キャッシュフロー生産性の目標を上げ、長年にわたる連続増配の記録を更新しています。当社が重要視している優れた製品、生産性の向上、組織と企業文化の革新により、競合他社との厳しい競争やマクロ経済の状況にも関わらず、業績が改善しています」と述べています。

1-3月期について

2019事業年度第3四半期の純売上高は、前年と比べて1%増の165億ドルでした。当四半期売上の為替差損は5%でした。本源的販売量の2%増の恩恵を受け、為替レートと事業の買収・売却の影響を除いた本源的売上高は、5%増加しました。価格改定は売上高の増加に2%寄与しました。「SK-II」や「タイド・ポッズ」などのプレミアム価格製品の大きな成長と先進国市場での強力な成長を背景に、ミックスは本源的売上高の伸びに1%寄与しました。

2019年1-3月期	販売	為替	価格				本源的	本源的
純売上高増減要因(1)	数量	レート	改定	ミックス	その他(2)	純売上高	販売量	売上高
ビューティー事業	3%	-5%	2%	4%	—%	4%	3%	9%
グルーミング事業	-3%	-7%	2%	—%	—%	-8%	-3%	-1%
ヘルスケア事業	7%	-4%	2%	1%	3%	9%	2%	5%
ファブリック& ホームケア事業	5%	-4%	1%	1%	-1%	2%	5%	7%
ベビー、フェミニン& ファミリーケア事業	—%	-4%	3%	-1%	—%	-2%	—%	2%
P & G 全体	3%	-5%	2%	1%	—%	1%	2%	5%

(1) これらの純売上高に係る増減割合は、継続的に適用している計算方法に基づく概算値です。

(2) その他には事業の買収・売却による売上ミックスの影響、2018年7月1日から適用された新しい会計基準「顧客との契約から生じる収益」の影響、ならびに、純売上高との差異分析に欠かせない端数処理が含まれています。

- ビューティー事業セグメントの本源的売上高は、前年に比べ9%増加しました。スキン&パーソナルケア部門の本源的売上高は、プレミアム製品の製品革新、スーパープレミアムブランドである「SK-II」が大きく成長し製品ミックスが有利になっていること、ならびに、価格改定により、10%台半ば成長しました。ヘアケア部門の本源的売上高は、先進地域と開発途上地域での力強い成長と価格改定により、一桁台半ばの増加となりました。
- グルーミング事業セグメントの本源的売上高は、1%減少しました。カミソリ・替刃部門の本源的売上高は、先進国市場での成長からもたらされた有利な地域ミックスと価格改定が販売数量の減少を相殺し、前年と同水準でした。電化製品部門の本源的売上高は、中間価格帯製品の大きな成長により生じた不利な製品ミックスの影響を受けて、一桁台半ばの減少となりました。
- ヘルスケア事業セグメントの本源的売上高は、5%増加しました。オーラルケア部門の本源的売上高は、力強い販売数量の伸び、ならびに、高価格帯の歯磨き粉と歯ブラシの製品革新による先進国市場での成長により、一桁台半ばの増加となりました。パーソナルヘルスケア部門の本源的売上高は、主に通貨価値下落と製品革新を理由とした価格改定により、一桁台半ばの増加となりました。パーソナルヘルスケア部門の純売上高は、メルク社のOTC事業を買収したことで、二桁台の成長となりました。
- 当四半期のファブリック&ホームケア事業セグメントの本源的売上高は、7%増加しました。ファブリックケア部門の本源的売上高は、製品革新、価格改定、ならびに、プレミアム製品で大きく成長したことによる製品ミックスの改善により、一桁台半ばの増加となりました。ホームケア部門の本源的売上高は、製品革新、プレミアム製品の成長による製品ミックスの改善、ならびに、価格改定により、一桁台後半の増加となりました。
- ベビー、フェミニン&ファミリーケア事業セグメントの本源的売上高は、前年と比べ2%成長しました。ベビーケア部門の本源的売上高は、一桁台前半の減少となりました。これは、競争激化と市場縮

小の影響が、価格改定とプレミアム製品の大きな成長によるミックスの改善効果を上回ったことによるものです。フェミニンケア部門の本源的売上高は、製品革新、プレミアム製品の成長による製品ミックスの改善、ならびに、通貨価値の下落を理由とした価格改定により、一桁台後半の増加となりました。ファミリーケア部門の本源的売上高は、製品革新と価格改定が、増量サイズ、大口顧客向け、ならびに、ドル建て取引市場での大幅な成長を要因とした製品ミックスの悪化に一部相殺され、一桁台半ばの増加となりました。

P & Gについて

P & Gは、高い信頼と優れた品質で、市場をリードする製品ブランドを世界中の人々にお届けしています。それらのブランドには、オールウェイズ®、アンビピュア®、アリエール®、バウンティ®、シャーマン®、クレスト®、ドーン®、ダウニー®、フェアリー®、ファブリーズ®、ゲイン®、ジレット®、ヘッド&ショルダーズ®、レノア®、オレイ®、オーラルB®、パンパース®、パンテーン®、SK-II®、タイド®、ヴィックス®、ウイパー®などが含まれます。P & Gは約 70 カ国に現地事業拠点を置き、世界的に事業を展開しています。P & Gとその製品について、最新の詳しい情報は、米国本社ホームページ <http://us.pg.com> (英語) をご参照ください。